



## 「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 熊本県教員セミナー 報告書

2016（平成28）年11月4日（金）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」熊本県教員セミナーが開催されました。熊本県教育庁 体育保健課長 平田浩一氏 他2名、熊本市教育委員会 健康教育課長 森田一孝氏 他4名、公益財団法人熊本県体育協会 事務局次長 松本健司氏、熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 事務局 太田黒尚子氏、熊本県障害者スポーツ・文化協会 事務局長 竹下智之氏、特定非営利活動法人ひとづくりくまもとネット 理事長 中川保敬氏、ならびに熊本県オリンピック・パラリンピック教育推進校より23名の先生方にご参加いただき、下記の要領で開催されました。

## 【開催概要】

日時：2016（平成28）年11月4日（金）14時15分～16時45分

会場：熊本テルサ たい樹

主催：特定非営利活動法人ひとづくりくまもとネット

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：43名（推進校教員23名、コンソーシアム構成関係団体等20名）

プログラム：

14:15～ 開催挨拶

平田 浩一氏 （熊本県教育庁教育指導局 体育保健課 課長）

14:30～ 講義1「オリンピック・パラリンピック教育の概要について」

深見 英一郎氏 （早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授）

15:15～ 講義2「オリンピック・パラリンピック教育の進め方について」

杉山 正明氏 （早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 事務局長）

16:15～ 質疑応答・意見交換

はじめに、熊本県教育庁の平田浩一氏より、教員セミナー開催にあたってのご挨拶をいただきました。平田課長からは、過日開催されたリオオリンピック・パラリンピックにも熊本県出身の選手が多数出場し、地震からの復興に向けて大きく前進していること、さらに本事業を通してより一層、熊本県の士気を高めていきたい旨のお話をいただきました。



開催挨拶 平田浩一氏



開催挨拶の様子

続いて、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 副センター長の深見英一郎氏より、改

めて本事業の実施に至った背景等を踏まえながら、事業の全体概要ならびにコンソーシアムへの依頼内容や、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたロードマップについて、1964年の東京オリンピック・パラリンピック当時の取り組みを踏まえ、具体的にご説明いただきました。



オリンピック・パラリンピック教育概要について

深見英一郎氏



講義の様子

その中で、「スポーツ・フォー・トゥモロー」の理念のもと、子どもたちとオリンピックとの交流を通して積極的に事業を展開し、熊本県と協力して2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催された後にも、レガシーとして残っていくような取り組みを推進したい旨のお話しをいただきました。

休憩の後には、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 事務局長の杉山正明氏より、クーベルタンの理念やスポーツの力に触れながら「オリンピック・パラリンピック教育」の具体像についてお示しいただきました。

特に、オリンピック・パラリンピック教育を推進していくうえで柱となる、オリンピックの3つの価値（卓越、友情、敬意／尊重）や、パラリンピックの4つの価値（勇気、決意、平等、鼓舞）についてご説明いただいた後、IOCの取り組みである「オリンピックの価値教育プログラム」（OVEP）をご紹介いただきました。

また、今後の各推進校における具体的な授業展開の例として、「オリンピック・パラリンピックそのものについての学び」と「オリンピック・パラリンピックを通じた学び」に関する具体的な資料について紹介がありました。そして、児童・生徒向けに本研究センターで作成したポートフォリオ形式の学習資料であるオリンピック・パラリンピックノートの活用方法についてもご説明いただきました。



オリンピック・パラリンピック教育の  
進め方について 杉山正明氏



質疑応答 吉永武史氏